

科目名 薬学領域におけるリーダー養成基礎科目	担当教員 理事長 木曾 誠一 学長 赤路 健一 教授 田中 智之 教授 村木 優一 講師 今西 孝至 講師 辻本 雅之 助教 松本 崇宏 助教 幸 龍三郎 学外講師 内藤 知佐子
【概要】 専門・認定薬剤師など薬学領域のリーダーを目指すうえで必要となる「専門・認定薬剤師の意義」「医療倫理・生命倫理」「コーチング」「リーダーシップ」について学ぶ。	
【授業の一般目標】 様々な職場で勤務している薬剤師が、将来の薬学領域におけるリーダーになるために必要な知識・技能・態度について考察できる。	

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	リーダー養成プログラム総論(1)	4月4日迄に視聴		30	村木	専門・認定薬剤師をはじめ、薬学領域で薬剤師を指導・監督する能力を備えたリーダーとしてのあるべき姿を考察できる。
		e-learning	講義			
2	リーダー養成プログラム総論(2)	2025年4月6日		60		
		スクーリング	演習			
3	リーダーシップ論(1)	2025年4月6日		60	赤路	社会や医療の多様化する中で、今後の必要とされる薬学と薬剤師の役割と将来展望について理解する。
		スクーリング	講義			
4	リーダー養成プログラム総論(3)	2025年4月6日		60	今西、 村木、辻本	激変する医療制度の中で求められる薬剤師像・リーダーシップの在り方を理解する。
		スクーリング	演習			
5	コーチング概論(1)	2025年6月15日		90	内藤	薬学領域におけるリーダーに必要なとされるコーチング理論について理解する。
		スクーリング	演習			
6	コーチング概論(2)	2025年6月15日		90		実践の場面を想定したケースでのコーチングスキル演習によるコーチングスキルを習得する。
		スクーリング	演習			
7	プレゼンテーション概論(1)	7月13日迄に視聴		30	松本	口頭発表の長所および短所を理解し、適切な発表資料を作成できる。
		e-learning	講義			
8	プレゼンテーション概論(2)	7月13日迄に視聴		30	幸	ポスター発表の長所および短所を理解し、適切な発表資料を作成できる。
		e-learning	講義			
9	医療・研究倫理概論	10月19日迄に視聴		60	田中	高度な医療プロフェッショナルとして必要な医療倫理・生命倫理・研究倫理について理解する。
		e-learning	講義			
10	リーダーシップ論(2)	2025年11月9日		60	木曾	少子高齢化や社会保障制度問題など医療経済学・医療経営学の観点から、今後の薬学領域におけるリーダー像について理解する。
		スクーリング	講義			
11	リーダー養成プログラム総論(4)	2026年2月15日		180	村木 辻本	ラーマンプログラムを履修したことによる自身の成長や今後の課題を考察し、議論できる。
		スクーリング	演習			

<p>科目名 科学的根拠に基づいた医療(EBM)</p> <p>【概要】 医薬品適正使用を実施するうえで必要となるエビデンスに基づく医療(EBM)について学ぶ。本科目において、論文の検索方法、医薬品情報の検索方法、評価方法、論文の構成について学び、実際に最新の英語論文の内容を評価するところまで実施する。</p> <p>【授業の一般目標】 批判的吟味に基づき日英の論文を読解し、臨床状況、患者の意向を考慮した上で、適切な方針を提案できる。</p> <p>【学習項目・到達目標】</p>	<p>担当教員</p> <table border="0"> <tr> <td>教授</td> <td>西口</td> <td>工司</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>辻本</td> <td>雅之</td> </tr> <tr> <td>助教</td> <td>河淵</td> <td>真治</td> </tr> <tr> <td>学外講師</td> <td>土手</td> <td>賢史</td> </tr> <tr> <td>学外講師</td> <td>三浦</td> <td>誠</td> </tr> <tr> <td>学外講師</td> <td>山本</td> <td>和宏</td> </tr> </table>	教授	西口	工司	講師	辻本	雅之	助教	河淵	真治	学外講師	土手	賢史	学外講師	三浦	誠	学外講師	山本	和宏
教授	西口	工司																	
講師	辻本	雅之																	
助教	河淵	真治																	
学外講師	土手	賢史																	
学外講師	三浦	誠																	
学外講師	山本	和宏																	

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	論文検索術概論(1)	4月30日迄に視聴		30	辻本	複数の二次資料の活用により必要な情報を検索し、得た情報を適切に管理できる。
		e-learning	講義			
2	医薬品情報検索術概論	4月30日迄に視聴		60	三浦	複数の医薬品情報データベースを活用することにより、速やかに必要な情報を得ることができる。
		e-learning	講義			
3	倫理審査概論	4月30日迄に視聴		30	辻本	倫理審査書類に記載すべき情報を列挙でき、倫理審査書類作成時に注意すべき事柄を列挙できる。
		e-learning	講義			
4	研究デザイン概論	4月30日迄に視聴		60	山本	PE(1)CO、FINER、アウトカムについて理解し、適切な研究デザインを描くことができる。
		e-learning	講義			
5	論文検索術概論(2)	2025年6月15日		90	辻本	模擬症例について、論文検索および医薬品情報検索を実施し、得た情報を適切に報告できる。
		スクーリング	演習			
6	論文評価概論(1)	7月13日迄に視聴		30	河淵	研究論文の構成を理解し、論文の内的妥当性、外的妥当性を評価できる。
		e-learning	講義			
7	論文評価概論(2)	2025年8月24日		60		
		スクーリング	演習			
8	論文作成概論	10月19日迄に視聴		60	西口	研究論文作成時・修正時の注意点を理解し、論文作成の基礎を身に付ける。
		e-learning	講義			
9	ジャーナルクラブ(1)	2025年10月		90	辻本 土手・山本	論文を批判的に捉えて、臨床上の課題への適合性を考えることができる。
		Teams	演習			
10	ジャーナルクラブ(2)	2025年11月		90		
		Teams	演習			
11	ジャーナルクラブ(3)	2025年11月9日		180		
		スクーリング	演習			

科目名 医療を支える基礎薬学	担当教員 教授 古田 巧 准教授 中村 誠宏 准教授 細木 誠之 講師 辻本 雅之
【概要】 薬学で学ぶ基礎薬学は、医療現場で行われる薬学的なアセスメントと密接に関係し、薬剤師の職能のベースとなるものである。本講義では、薬学的なアセスメントに活用できる構造式、化学反応、生理学、薬物動態学などの基礎薬学のトピックスを物理化学的な観点も交えて解説する。	
【授業の一般目標】 基礎薬学に裏付けられた薬剤師業務を実践し、かつ後進に指導できるようになるために、医療現場に直結する病態生理学と基礎薬学を習得する。	

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	医療を支える有機化学(1)	4月30日迄に視聴		45	古田	構造式の基本構造を理解し、描画に利用可能なソフト(Marvin Sketch)を取得し、薬物の構造を作成できる。
		e-learning	講義			
2	医療を支える薬物動態学	5月31日迄に視聴		60	辻本	患者の病態変動や併用薬の追加・中止に伴う、薬物動態の変動について予測できる。
		e-learning	講義			
3	医療を支える病態生理学	5月31日迄に視聴		60	細木	患者の病態変動に基づく生理学的変動のメカニズムを説明できる。
		e-learning	講義			
4	医療を支える有機化学(2)	5月31日迄に視聴		60	古田	構造式から、薬物の物性、金属カチオン・CYPとの結合性、反応性、消失経路、副作用を起こす脱離基の存在などを推察できる。
		e-learning	講義			
5	医療を支える東洋医学	5月31日迄に視聴		60	中村誠	東洋医学の考え方や用いられる生薬を理解し、患者の治療の適正化に役立てられる。
		e-learning	講義			
6	医療を支える薬学的アセスメント	2025年6月15日		90	古田、中村誠 細木、辻本	医療現場での患者に関する薬学的な問題点について、基礎薬学の知識に基づきアセスメントできる。
		スクーリング	演習			

<p>科目名 医療を支える統計学</p> <p>【概要】 医薬研究をはじめ、医療政策および医療現場での意思決定には十分な情報の集積とそれに対する統計処理が重要になる。特に臨床研究や、公衆衛生学などの疫学で汎用される医療統計学および社会統計学は、医薬研究や医療問題、健康問題などを評価・把握するうえで重要な学問である。本講義では、それらの活用の意義および手法について学ぶ。</p> <p>【授業の一般目標】 医学・薬学・社会科学研究に用いる具体的な統計学の理論および解析手法を習得し、活用できる。</p> <p>【学習項目・到達目標】</p>	<p>担当教員</p> <p>教授 村木 優一 講師 辻本 雅之 助教 冢瀬 諒 助教 地寄 悠吾 助教 松本 崇宏 助教 幸 龍三郎</p>
--	--

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	統計解析ツール	4月30日迄に視聴		30	地寄	統計解析に利用するソフト(EZR)を取得し、簡単な作業を実施できる。
		e-learning	講義			
2	臨床研究計画と統計学	8月24日迄に視聴		90	地寄	臨床研究を計画する際に必要な、試験デザインや統計解析計画について理解する。
		e-learning	講義			
3	統計解析の実践・基本編	8月24日迄に視聴		90	地寄	統計解析に利用するソフト(EZR)を用いた医薬領域での統計解析事例を学び、その手法を理解する。
		e-learning	講義			
4	統計解析の実践・実践編	2025年8月24日		180	地寄、村木 辻本、冢瀬 松本、幸	具体的データを用いて統計解析を実践し、医薬領域で汎用されている統計解析手技を習得する。
		スクーリング	演習			

<p>科目名 多様化する医療に対する医療人養成</p> <p>【概要】 これからの薬剤師は、他者との密接な関わりを求められ、豊かな人間性が要求される。また、医療現場にはさらにAIが導入されることが予想され、ICTの発達で、医療情報の提供や共有のあり方も変化を迎えている。本講義では、芸術の鑑賞や体験を通して、他者を理解し許容する幅広い人間力を磨くと同時に、AIおよびICTの概要を理解し、新時代での指導的な医療人・薬剤師の在り方を学ぶ。</p> <p>【授業の一般目標】 多様化する医療環境や様々な疾患に向けた医療現場での多様な価値観を許容する感性を磨き、あらゆる場面で高いコミュニケーション能力を発揮できる。また、医療現場におけるAIおよびICTの現状を把握するとともに、これらの技術が導入された医療現場での医療人・薬剤師の在り方および指導の仕方を考案できる。</p> <p>【学習項目・到達目標】</p>	<p>担当教員</p> <p>教授 古田 巧 教授 村木 優一 講師 辻本 雅之 学外講師 佐古 卓人 学外講師 寺坂 昌三</p>
--	--

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	ICT活用	2025年4月6日		60	辻本	Microsoft TeamsやmanabaのようなICTを活用できる。
		スクーリング	演習			
2	医療ビッグデータの活用	10月19日迄に視聴		60	村木	レセプトデータ、DPCデータ、副作用自発報告データのようなビッグデータの活用方法を理解する。
		e-learning	講義			
3	医療と芸術	2025年10月19日		180	寺坂 古田	芸術(書道)の世界観を学び、得られた視点・気づき等から、医療に活かすための感性を涵養する。
		スクーリング	講義・演習			
4	AI・ICT活用	2025年10月19日		180	佐古 村木	AIおよびICT、IoTの概要および医療界での応用を理解できる。
		スクーリング	講義・演習			

科目名 症例報告書作成コース専門科目

担当教員

教授 村木 優一
 准教授 細木 誠之
 講師 今西 孝至
 講師 辻本 雅之
 講師 中村 暢彦
 助教 冢瀬 諒
 助教 地寄 悠吾
 助教 松本 崇宏
 助教 幸 龍三郎
 学外講師 出石 啓治
 学外講師 植田 貴史
 学外講師 岡本 明大
 学外講師 土手 賢史
 学外講師 山田 孝明

【概要】

症例報告は、患者への薬物治療に関わるなかで、普段と異なるイベントに気づき、科学的根拠をもって事象を説明する文書である。この症例報告は、学会等の専門・認定薬剤師になるための要件にも求められている。本講義では、薬学的視点に基づいた症例解析や症例報告書作成の基本的事項を学び、症例報告書を作成できる技能を学ぶ。

【授業の一般目標】

薬学的視点に基づいた症例解析や適切な症例報告書を作成することができる。

【学習項目・到達目標】

No	学習項目	実施時期		時間数 (分)	担当教員	到達目標
		授業形態				
1	症例報告書作成概論	6月15日迄に視聴		60	村木	症例報告作成時の注意点を理解し、症例報告作成の基礎を身に付ける。がん・感染症など、各専門・認定薬剤師の症例報告の様式を知る。
		e-learning	講義			
2	症例報告書および発表スライドの構成	6月15日迄に視聴		30	冢瀬	科学的視点に基づく症例報告書を作成する時に注意すべき事柄を列挙できる。
		e-learning	講義			
3	症例報告の形式	6月15日迄に視聴		45	中村暢	和文および英文で記載された症例報告の形式について説明できる。
		e-learning	講義			
4	症例解析学概論	6月15日迄に視聴		90	出石、植田 岡本、土手 山田	各領域において、薬学的視点により、症例を解析することができ、代表的な薬学的介入例について示すことができる。
		e-learning	講義			
5	症例報告作成(1)	前期(6月)		90	メンター	自身が介入した特筆すべき症例について、症例報告のスライドを作成できる。
		Teams	演習			
6	症例報告作成(2)	前期(7月)		90		
		Teams	演習			
7	症例報告作成(3)	前期(8月)		90		
		Teams	演習			
8	症例検討会(1)	2025年8月23日		360	自身が介入した特筆すべき症例について、特筆すべき自験例について概説することができる。他者の症例報告等について理解し、建設的な意見を述べることができる。	
		スクーリング	演習			
9	症例報告作成(4)	後期(11月)		90	メンター	自身が介入した特筆すべき症例について、症例報告書を作成できる。
10	症例報告作成(5)	後期(12月)		90		
11	症例報告作成(6)	後期(1月)		90		
12	症例検討会(2)	2026年2月14日		360	自身が介入した特筆すべき症例について、特筆すべき自験例について概説することができる。他者の症例報告等について理解し、建設的な意見を述べることができる。	
		スクーリング	演習			

教員一覽

2024.12.6現在

	氏名	所属	職位
学内教員	木曾 誠一	学校法人京都薬科大学	理事長
	赤路 健一	京都薬科大学	学長／教授
	田中 智之	京都薬科大学 薬理学分野	教授
	西口 工司	京都薬科大学 臨床薬学分野	教授
	古田 巧	京都薬科大学 薬化学分野	教授
	村木 優一	京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野	教授
	中村 誠宏	京都薬科大学 生薬学分野	准教授
	細木 誠之	京都薬科大学 病態生理学分野	准教授
	今西 孝至	京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター	講師
	辻本 雅之	京都薬科大学 臨床薬学分野	講師
	中村 暢彦	京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター	講師
	豕瀬 諒	京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野	助教
	河淵 真治	京都薬科大学 薬物動態学分野	助教
	地寄 悠吾	京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター	助教
	松本 崇宏	京都薬科大学 公衆衛生学分野	助教
	幸 龍三郎	京都薬科大学 生化学分野	助教
学外講師	出石 啓治	株式会社出石薬局	代表取締役
	植田 貴史	兵庫医科大学病院 感染制御部	助教
	岡本 明大	三重大学医学部附属病院 薬剤部	薬剤主任
	佐古 卓人	H&H CONNECT 株式会社	取締役
	寺坂 昌三	京都橘大学 文学部 日本語日本文学科	教授
	土手 賢史	京都桂病院 薬剤科	係長
	内藤 知佐子	愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター	助教
	三浦 誠	洛和会音羽病院 薬剤部	部長
	山田 孝明	和歌山県立医科大学薬学部 医療薬剤学研究室	准教授
	山本 和宏	岡山大学学術研究院医歯薬学域(薬学系) 臨床基礎統合薬学分野	教授

※五十音順(学内教員は職位毎)